

令和5年度愛知県立豊丘高等学校生活文化科推薦選抜実施要項

1 出願資格

本校生活文化科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和5年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校生活文化科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

(1) 「 人物が優れており、運動、文化、芸術、奉仕活動等の諸活動（特別活動及び総合的な学習の時間における活動を含む。）のいずれかにおいて優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校生活文化科の教育課程を履修する学力を有するとともに、次の事項のいずれかに該当すること。

ア 運動の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者について

- (ア) 柔道、剣道、弓道等武道有段の者。又は1級を取得しており、初段取得を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (イ) 地区大会（東三河大会等）で入賞した者又は県大会以上の大会に出場した者。又は出場を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。ただし、団体競技においては、チームの正選手であり、チームの成績に顕著な貢献をした者。
- (ウ) チームの成績とは別に、個人として特に優れた技能を有する者。
- (エ) 部活動において、3年間努力し、部長又は副部長として貢献した者。

イ 文化、芸術等の分野で優れた能力・適性及び実績等を有する者について

- (ア) 書道、絵画、造形、音楽、作文、弁論等の地区、県又は全国コンクール（展示会）等で入賞した者。又は自身の特技の更なる向上を目指して努力した結果、それと同等の成果が認められる者。
- (イ) 部活動において、3年間努力し、部長又は副部長として貢献した者。

ウ 奉仕活動、生徒会等の分野で活躍した者について

- (ア) 奉仕活動等に相当期間従事し、中心的な役割を果たし、顕著な実績をあげた者。
- (イ) 奉仕活動を目的とした団体に所属して指導的役割を果たした者。
- (ウ) 生徒会役員、級長又は副級長として活躍し、優れた指導力を発揮した者。
- (エ) 「総合的な探究の時間」において顕著な成績をあげた者。

- (2) 「㊦ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校生活文化科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和5年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。
- (3) 「㊧ 人物が優れており、『調査書』の『学習の記録』が優秀で、学習活動において他の模範となる者」として、次の事項に該当すること。
- ア 入学後も常に各教科・科目の学習に努力する意欲のある者。
- イ 家庭科の基礎的な知識や技術を十分に習得し、かつ学習意欲が旺盛な者。
- (4) 本校の推薦選抜において特に重視すること
- ア はっきりとした目的意識を持って、学習及び諸活動に主体的に取り組もうとする積極的な姿勢を持っていること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校生活文化科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

4 出願の手続き

出願に当たっては、「推薦選抜入学願書」、「調査書」、「推薦書」等の必要書類を、次の期日に本校に提出する。

令和5年2月1日（水）及び同年2月2日（木）

受付は、2月1日（水）は9時から16時まで、2月2日（木）は9時から15時までとする。（郵送による場合も、提出締め切り日時までに必着のこと。）

5 面接の実施日

令和5年2月6日（月）

なお、個人面接で行う。

6 合格者の発表日時及び方法

令和5年2月8日（水） 14時

ウェブページ及び掲示により合格者を発表し、中学校長を通じて本人に通知する。

7 その他

面接に関する具体的な注意事項は、願書受付時に受検票と共に配布する印刷物（受検案内）を参照のこと。